

「相模原市道路情報管理システム」

SRIMS

(*Sagamihara Road Information Management System*)

拡張DM図式・分類コード表

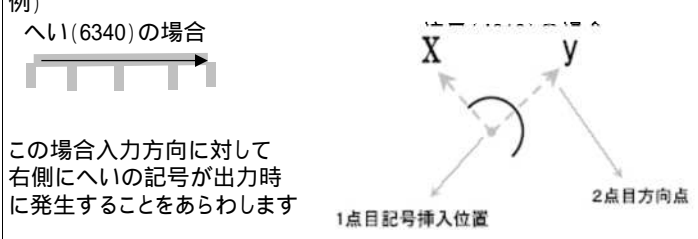
道路台帳平面図

調書平面図

令和4年度版

この拡張DM(道路台帳平面図)図式・分類コード表は、本業務特有の地物に関する図式分類コードを表記している。
 その他のコードは、相模原市公共測量作業規程・公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表を参照し、レベル500の地物はすべて対象とする。

大分類	分類	図式分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				

番号	項目	説明	備考
	大分類	公共測量作業規程・公共測量標準図式に準ずる。	
	分類		
	図形分類コード		
	レイヤ データ項目		
	名称		
	縮尺	500	本業務はレベル500の地物を対象としている。
	図式	図面出力時の図(絵)を表示。	
	データタイプ	取得方法	<p>・各図形に対する取得方法を示す。 ・線データで矢印()があるものは、入力方向が有ることを示す(の方向の欄に"有"があるもの)。 ・記号は傾き0°で表示 ・点データで傾きのあるもの(の方向の欄に"有"があるもの)はy軸が傾向を示す。</p> <p>例) へい(6340)の場合</p>  <p>この場合入力方向に対して右側にへいの記号が出力時に発生することをあらわします</p>

この拡張DM(道路台帳平面図)図式・分類コード表は、本業務特有の地物に関する図式分類コードを表記している。
 その他のコードは、相模原市公共測量作業規程・公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表を参照し、レベル500の地物はすべて対象とする。

大分類	分類	図式分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				

大分類	分類	データタイプ	図形区分	DMデータフォーマットの図形区分に準ずる		
				コード	内容	
				00	非 区 分	下に該当しない全データ
				11	射影部の上端	石段等の両端部、崩土、壁岩、滝、人口斜面、被覆の射影を持つもの
				12	射影部の下端	
				21	高 欄	道路橋
				22	橋 脚	
				23	親 柱	
				26	ガードレール	
				27	ガードパイプ	
				31	中 庭 線	建物
				32	棟 割 線	
				33	階 層 線	
				34	外 付 階 段	
				35	ポーチ・ひさし	
41	構造物外周	道路				
42	橋 脚					
46	へ い	敷地内の建物と建物の境などに作られたへいに適用する				
47	輸 送 管	輸送管(空中)の極小				
51	表 層 面	数値地形モデル				
52	海 水 面					
99	表況補助データ		石段等の階段部			

この拡張DM(道路台帳平面図)図式・分類コード表は、本業務特有の地物に関する図式分類コードを表記している。
 その他のコードは、相模原市公共測量作業規程・公共測量標準図式 数値地形図データ取得分類基準表を参照し、レベル500の地物はすべて対象とする。

大分類	分類	図式分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				

	データタイプ	データ	データのタイプを示す(示すレコードタイプ「E1～E8、G、T」を日本語で説明したもの DMデータフォーマットのレコードタイプ(E1～E8、G、T)を示す。		
		レコード	レコードタイプ	データタイプ	
			E1	面	始終点座標が一致しなければならない
			E2	線	
			E3	円	
			E4	円弧	
			E5	点	
			E6	方向	
			E7	注記	
			E8	属性	
			G	グリッド	
		T	不整三角網		
	ディプタ	方向	道路橋やへい、被覆など、入力方向があるものや、 DMデータフォーマットのレコードタイプが「E6」の傾きを持つ記号(点)に、「有」がついている		
		属性数値	高さや階数などの属性を持つものは、「有」がついている		
	線号	入力する線の線号(太さ)を示す。線号:1号は、0.05mm			
	適用	公共測量作業規程・公共測量標準図式に準ずる			
	端点一致	連続線分同士の端点が一一致することを示す			
	備考	補足等が記入されている			

本業務独自でないコードで表に記載のあるものは、内容に独自の設定があるもの。

交通施設

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考	
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値
交通施設	道路施設	90		01	コンクリート舗装		C	舗装の中心に表示		点	E5			3	舗装範囲の中央付近に表示する。範囲の長さが図上20cmを超える場合は20cmに1箇所程度の密度で表示する。	
				02	アスファルト舗装		As			点	E5			3		
				03	カラー舗装		K			点	E5			3		
				04	ブロック舗装		B			点	E5			3		
				05	コンクリート平板		P			点	E5			3		
				06	砂利道		J	砂利道の中心に表示	点	E5			3			
				07	砂利道			道路縁線を取得	線	E2			3	畑の中の砂利道など、道路部と周囲の地形の境界が明確でない場合に、想定される道路部の界線を表示する。		
				08	舗装界			舗装界線を取得	線	E2			3	舗装種別の境界線を表示する。		
22	03	道路橋(高架部)	一般道路 河川		線線を取得	線	E2			6	鉄・コンクリート製の橋をいう。高欄・橋脚部分は真形を表示する。道路との縁線についても取得する。					
					高欄 外周を取得 (始終点座標一致)	21	面	E1								
					橋脚	22	線	E2								
					観柱	23	面	E1								

交通施設

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考	
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値
交通施設	道路施設	90	22	歩車道界線 (マウンドアップ)			車道との界線を取得			線	E2			3	真幅道路で歩道を有する部分は、歩道の幅員が図上0.6mm以上のものを表示し、その端末は現況により閉塞する。 セミフラット式歩道はフラット式で表示する。	取得分類基準表の「歩道」 [2213]は使用しない。
			23	歩車道界線 (フラット)						線	E2			3		
	22	14	石段	一般 道路 河川		階段線取得 (階段部は取得しないで石段の上端・下端は閉じない)			線	E2				3	図上の長さがおおむね2.0mm以上のものを表示し、幅員が図上0.5mm以下のものは省略することができる。競技場等で屋根のない階段状の観覧席等は、これに準じて表示する。	
						石段（上端部）		11								
						石段（下端部）		12								
						階段線		99								
	90	31	点字ブロック (誘導ブロック)		実線	中心を取得	線	E2				4	歩道上等の「点字ブロック」の中心線を表示する。			
			32	点字ブロック (警告ブロック)		実線	中心を取得	線	E2						4	
		41	車止め (ボール型)		中心を取得	点	E5					2	歩道等に自動車が進入できないように立てられたボール型及びアーチ型の車止めをいう。			
			42	車止め (アーチ型)		実線	中心を取得	線	E2						2	
		46	ガードレール		中心を取得	線	E2					2	取得分類基準表の防護さく [6132.26][6132.27]は使用しない			
		47	ガードパイプ		中心を取得	線	E2					2				

交通施設

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
交通施設	道路施設	90	48	ガードフェンス			中心を取得		線	E2			2	歩車道を分離する防護柵をいう。	
			49	鉄線			中心を取得		線	E2			2		
	22	31	側溝 U字溝無蓋	道路		縁線を取得	線	E2			3	道路縁に設けられた無蓋のU字溝等をいう。名称は道路標準構造図を参照する。			
						挿入位置 U-240	注記	E7	有						
		32	側溝 U字溝有蓋	道路		縁線を取得	線	E2			3	道路縁に設けられた有蓋のU字溝等をいう。名称は道路標準構造図を参照する。			
						挿入位置 U-240	注記	E7	有						
		33	側溝 L字溝	道路		縁線を取得	線	E2			3	道路縁に設けられたL字溝等をいう。名称は道路標準構造図を参照する。			
挿入位置 L-250A	注記					E7	有								
34	側溝地下部	道路		地下経路 縁線を取得	線	E2			3	道路縁に設けられたU字溝等の地下部をいう。					
90	61	側溝 LU字溝			縁線を取得	線	E2			3	道路縁に設けられたLU字溝等をいう。				
			挿入位置 LU-300	注記	E7	有									

交通施設

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考			
		レイヤ	データ項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値		
交通施設	道路施設	90	62	側溝 L0字溝	500		線線を取得	線	E2				3	道路縁に設けられたL0字溝等をいう。名称は道路標準構造図を参照する。				
							挿入位置 LO-300										注記	E7
			63	側溝 円形側溝	500		線線を取得	線	E2						3	道路縁に設けられた円形側溝等をいう。名称は道路標準構造図を参照する。		
							挿入位置 O-300											
			64	側溝グレーチング (横断線)				地下経路 線線を取得	線	E2					3	道路を横断する側溝で、蓋が格子状の金属板で構成されるものをいう。		
			65	側溝グレーチング (内部表示線)				等間隔 (図上2mm) 表示	線	E2					3	グレーチング側溝の蓋部分に等間隔 (図上2mm) で表示する。		
	66	側溝 区切り線				側溝種別の界線を取得	線	E2					3	側溝種別の変化する箇所に表示する。				
	22	35	雨水樹	道路		外周を取得 (始終点座標一致)	面	E1					3	道路縁に設けられた側溝に付随して設置された雨水等の集水樹をいう。道路標準構造図を参照して種別ごとに外周寸法を取得する。				
	22	42	道路標識 案内	(道路)		脚の位置の点情報と標識の向きを取得	方向	E6	有				3	道路管理者が設置する道路標識をいい、案内、警戒、及び規制に区分する。道路標識は道路の中心に向けて作図する。				
		43	道路標識 警戒	(道路)		脚の位置の点情報と標識の向きを取得	方向	E6	有				3					
44		道路標識 規制	(道路)		脚の位置の点情報と標識の向きを取得	方向	E6	有				3						


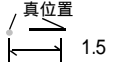



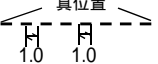
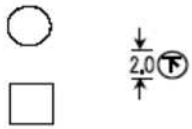


交通施設

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考	
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値
交通施設	道路施設	90	71	自発光鈺			位置の点情報を取得		方向	E6	有		3	道路交差点に設置された発光鈺をいう。道路の方向に向きを合わせる。		
			72	信号制御盤(警察管理)			外周線を取得(始終点座標一致)		面	E1			2	道路上に設けられた信号制御盤の外周を表示する。		
			81	電線共同溝			外周線を取得(始終点座標一致)		面	E1			3	道路上に設けられた共同溝の蓋の外周を表示する。		
			82	変圧器(東京電力管理)			外周線を取得(始終点座標一致)		面	E1			2	共同溝に付随する電力変圧器の外周を表示する。		
	90	91	鉄道敷(踏切)			鉄道敷地界線を取得		線	E2			3	踏切左右10mの鉄道敷地界線を表示する			

建物等

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線 号	適用	端点 一致	備考
		レイヤ	項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
建物等	建物	91	01	アーケード			外周線を取得 (始終点座標一致)		面	E1		3	道路を覆う屋根の部分を表示する。		
			02	アーチ			中心を取得		線	E2		3	支柱間を結ぶアーチの部分を表示する。		
			03	アーチ(支柱)			位置の点情報を取得		点	E6		3	アーチの支柱を表示する。		

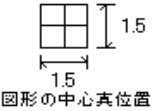
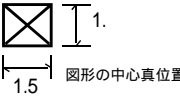

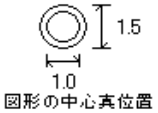
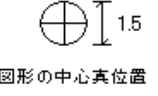
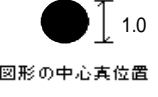
小物体

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ						線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値				
小物体	公共施設	91	74	電柱	500		中心を取得		点	E5			3	電力柱、電話柱、有線柱などを取得する。		取得分類基準表の「有線柱」[4119]、「電話柱」[4132]、「電力柱」[4142]は使用しない。
			75	電柱方向線				線	E2			2				
			76	支柱			中心を取得		点	E5			3			
			77	支柱(ささえ)			中心を取得		点	E5			3			
			78	支線			中心を取得		点	E5			3			
			79	支柱支線方向線					線	E2			2			
			41	51	マンホール(下水)	一般 道路 河川		蓋の外周を取得(始終点座標一致) 	面円	E1 E3				3		
				極小 点位置情報を取得 	点	E5										

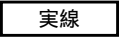


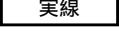
小物体

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考	
		レイヤ	データ項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値
小物体	公共施設	91	81	汚水		 図形の中心真位置	中心を取得		点	E5			3			
			82	汚水(楯)		 図形の中心真位置	中心を取得		点	E5			3			
			83	雨水		 図形の中心真位置	中心を取得		点	E5			3			
			91	仕切り弁		 図形の中心真位置	中心を取得		点	E5			3	蓋の直径が60cm以上のものを取得する。		
			92	制水弁		 図形の中心真位置	中心を取得		点	E5			3			
			93	止水弁		 図形の中心真位置	中心を取得		点	E5			3			
			94	空気弁		 図形の中心真位置	中心を取得		点	E5			3			
			95	減圧弁		 図形の中心真位置	中心を取得		点	E5			3			
96	量水器		 図形の中心真位置	中心を取得		点	E5			3						

小物体

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ						線号	適用	端点一致	備考	
		レイヤ	項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値					
小物体	その他の小物体	92	01	国石杭等			中心を取得		点	E5				3	国石、県石、鉄道用地石、水道道石に適用		
			09	他市町村境界杭			中心を取得		点	E5				3	他市町村境界杭に適用		
			10	その他境界点			中心を取得		点	E5				3	その他の境界点に適用		
			11	市石杭			中心を取得		点	E5				3	市石(A、B、C)、市石(民石)及び市河川石(A、B、C)に適用		取得分類基準表の「官民境界杭」[4211]は使用しない。
			15	金属標・鉄			中心を取得		点	E5				3	市プレート(PB、PC、P)、市河川プレート(PB、PC、P)、市鉄、市河川鉄、国(金属標)、県(金属標)、鉄道用地(金属標)及び水道(金属標)に適用		
			19	図上点			中心を取得		点	E5				3	図上点に適用 現地に埋設されていないが座標を管理している境界点をいうもので、亡失点ではない。		

水部等

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考		
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値	
水部等	水部に関する構造物	92	51	吐口	河川				線	E2			3				
			52	取水口	河川				線	E2				3			
			53	パラベット	河川				線	E2				3			
			54	植栽ブロック	河川				線	E2				3			

土地利用等

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
土地利用等	法面	61	01	人工斜面	一般 道路 河川		上端線 低い方を右に取得 	11	線	E2	有	3	盛土及び切土により人工的に作られた急斜面(道路、鉄道等の盛土及び切土部、造成地の急斜面等)をいう。頂部の実線で、傾斜部分は長ケバと短ケバを交互に射影の1/2間隔に表示する。長ケバの長さは射影幅、短ケバの長さは射影幅の1/2とする長いものは中間を省略することができる。		
			下端線 高い方を右に取得 	12											
		02	土堤	一般 道路 河川		上端線 低い方を右に取得 	11	線	E2	有	3	被覆のない堤防及び敷地等の周囲にある盛土をいう。長いものは中間を省略することができる。			
下端線 高い方を右に取得 	12														
93	03		補助記号 (人工斜面・土堤)			—————		線	E2	有	3	人工斜面・土堤の中に補助記号として表示する。			

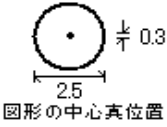
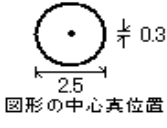
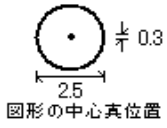
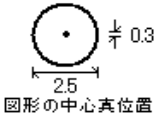
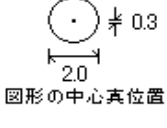
土地利用等

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考				
		レイヤ	データ項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値			
土地利用等	法面	61	11	コンクリート被覆	一般道路 河川		直ヒ 低い方を右に取得 →	射影部（上端線）低い方を右に取得 →	射影部（下端線）高い方を右に取得 ←	11	線	E2	有	3	道路河岸、海岸などの斜面を保護するための堅ろうな工作物のうち、コンクリート製のものをいう。周縁を描き、上縁の線に半円を配し、その内部に円点を表示する。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。				
			12	ブロック被覆	一般道路 河川		直ヒ 低い方を右に取得 →	射影部（上端線）低い方を右に取得 →	射影部（下端線）高い方を右に取得 ←	11	線	E2	有				3	斜面又は側面を保護するためのブロック製の被覆をいう。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。周縁を描き、上縁の線に四角を配し、その内部に円点を表示する。射影幅があり、長いものは中間を省略することができる。	
			13	石積被覆	一般道路 河川		直ヒ 低い方を右に取得 →	射影部（上端線）低い方を右に取得 →	射影部（下端線）高い方を右に取得 ←	11	線	E2	有						

土地利用等

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
土地利用等	法面	93	13	補助記号(被覆)			○ ○ ○ ○	点	E5			3	被覆の中に補助記号として表示する。		
		61	21	法面保護(網)	一般道路 河川		真形 外周を取得(始終点座標一致) 	面	E1			3	盛土又は切土部の法面を網で覆っているものをいう。		
		93	21	補助記号 (法面保護・網)	s		× × × ×	点	E5			3	法面の中に補助記号として表示する。		
		61	22	法面保護(モルタル)	一般道路 河川		真形 外周を取得(始終点座標一致) 	面	E1			3	モルタルで法面を覆っているものをいう。		
		93	22	補助記号 (法面保護・モルタル)			○ ○ ○ ○	点	E5			3	法面の中に補助記号として表示する。		
		61	23	法面保護(コンクリート樹)	一般道路 河川		真形 外周を取得(始終点座標一致) 	面	E1			3	コンクリート樹で法面を覆っているものをいう。		
		93	23	補助記号 (法面保護・コンクリート樹)			++ ++ ++ ++	点	E5			3	法面の中に補助記号として表示する。		

地形等

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線 号	適用	端 点 一 致	備 考
		レイ ヤ	デー タ		500		取得方法	図 形 区 分	デー タ	レ コ ード	方 向				
地形等	基準点	93	51	1級基準点	500		中心を取得	点	E5			3	基準点番号を表示する。		
			挿入位置 ↓ .123	注記		E7									
			52	2級基準点	500		中心を取得	点	E5			3	基準点番号を表示する。		
			挿入位置 ↓ .123	注記		E7									
			53	市3級基準点	500		中心を取得	点	E5			3	基準点番号を表示する。		
挿入位置 ↓ .123	注記	E7													
54	市4級基準点	500		中心を取得	点	E5			3	基準点番号を表示する。					
挿入位置 ↓ .123	注記		E7												
93	55	補備点	500		中心を取得	点	E5			3	データ整備測量委託において設置したものを適用する。	基準点番号を表示する。			
挿入位置 ↓ .123	注記	E7													

大分類	分類コード		分類	表示対象	字大	字隔	データタイプ			注記法の区分			全角・半角	備考「記載例」	
	レイヤ	項目目次			(mm)		データ	レコード	小対象物	地域()	地域()	線状			
					500										(mm)
注記	22	31	交通施設	側溝 U字溝無蓋	2.0	0.0	注記	E7					半角	種別 - 幅 「U-240」	
		32		側溝 U字溝有蓋	2.0	0.0	注記	E7					半角	種別 - 幅 「U-240」	
		33		側溝 L字溝	2.0	0.0	注記	E7					半角	種別 - 幅 「L-250A」	
		90		61	側溝 LU字溝	2.0	0.0	注記	E7					半角	種別 - 幅 「LU-300」
				62	側溝 LO字溝	2.0	0.0	注記	E7					半角	種別 - 幅 「LO-300」
				63	側溝 円形側溝	2.0	0.0	注記	E7					半角	種別 - 幅 「O-300」
	22	55	距離標 (Km)	2.0	0.5	注記	E7					半角			
		56	距離標 (m)	2.0	0.5	注記	E7					半角			
	92	30	小物体	市石杭	2.0	0.0	注記	E7						半角・全角	市石(A) 「123」 市石(B) 「B123」 市石(C) 「C123」 市石(民) 「M123」 (東電杭の場合) 「E123」 市河川石(A) 「123」 市河川石(B) 「B123」 市河川石(C) 「C123」 (半角、全角の混在は不可)
				金属標・鉄											国(金属標) 「K123」 県(金属標) 「K123」 鉄道用地(金属標) (JRの場合) 「JR123」 (京王の場合) 「KR123」 (小田急の場合) 「OER123」 水道道(金属標) 「W123」 市プレート(P) 「P123」 (民杭の場合) 「MP123」 市プレート(PB) 「PB123」 市プレート(PC) 「PC123」 市鉄 「123」 市河川プレート(P) 「P123」 市河川プレート(PB) 「PB123」 市河川プレート(PC) 「PC123」 市河川鉄 「123」 (半角、全角の混在は不可)
				国県石杭等											国石 「K123」 県石 「K123」 鉄道用地石 (JRの場合) 「JR123」 (京王の場合) 「KR123」 (小田急の場合) 「OER123」 水道道石 「W123」 (半角、全角の混在は不可)
				図上点 他市町村境界杭 その他境界点											境界点番号のみ 「123」 (半角、全角の混在は不可)
	34	04	水部	プール	2.0	0.5	注記	E7					全角		
	52		水部に関する構造物等	14 護岸 捨石	2.0	2.0	注記	E7						全角	
				22 船揚場	2.0	0.5	注記	E7						全角	
				35 根固	2.0	0.5	注記	E7						全角	
				36 床固 陸部	2.0	2.0	注記	E7						全角	
				37 床固 水面下	2.0	2.0	注記	E7						全角	
				38 蛇籠	2.0	0.5	注記	E7						全角	
	71		等高線数値	01 等高線(計曲線)	2.0	0.5	注記	E7						半角	
				02 等高線(主曲線)	2.0	0.5	注記	E7						半角	
				03 等高線(補助曲線)	2.0	0.5	注記	E7						半角	
				04 等高線(特殊補助曲線)	2.0	0.5	注記	E7						半角	
				05 凹地(計曲線)	2.0	0.5	注記	E7						半角	
				06 凹地(主曲線)	2.0	0.5	注記	E7						半角	
				07 凹地(補助曲線)	2.0	0.5	注記	E7						半角	
				08 凹地(特殊補助曲線)	2.0	0.5	注記	E7						半角	
73		基準点等	01 三角点	2.0	0.5	注記	E7						半角		
			02 水準点	2.0	0.5	注記	E7						半角		
			03 多角点等	2.0	0.5	注記	E7						半角		
			04 公共基準点(三角点)	2.0	0.5	注記	E7						半角		
			05 公共基準点(水準点)	2.0	0.5	注記	E7						半角		
			06 公共基準点(多角点等)	2.0	0.5	注記	E7						半角		
			07 その他の基準点	2.0	0.5	注記	E7						半角		

大分類	分類コード		分類	表示対象	字大 (mm)	字隔 (mm)	データタイプ			注記法の区分			全角・半角	備考「記載例」	
	レイヤ	項目データ			500		データ	レコード	小対象物	地域()	地域()	線状			
注記	95	23	道路台帳	曲率半径表示線	2.0	0.0	注記	E7					半角	曲率半径数値	
		24		縦断勾配表示線	2.0	0.0	注記	E7					半角	縦断勾配数値	
		31		旗揚げ線(実線)	2.0	0.0	注記	E7					全角	旗揚げ内容	
		32		旗揚げ線(破線)	2.0	0.0	注記	E7					全角		
		41		未決記号	2.0	0.0	注記	E7					半角	該当地番	
		42		不立会い記号	2.0	0.0	注記	E7					半角		
		43		再立会い記号	2.0	0.0	注記	E7					半角		
	82	62		地番	2.5	0.0	注記	E7					半角		
	97	01	区域線確定図	国家座標による道路区域線	2.0	0.0	注記	E7						半角	境界点間距離数値
		02		任意座標による道路区域線	2.0	0.0	注記	E7						半角	
		05		任意座標による国県道区域線	2.0	0.0	注記	E7						半角	
		07		地籍調査による道路区域線	2.0	0.0	注記	E7						半角	
		11		国家座標による引掛線	2.0	0.0	注記	E7						半角	
		12		任意座標による引掛線	2.0	0.0	注記	E7						半角	
		15		任意座標による国県道引掛線	2.0	0.0	注記	E7						半角	
		17		地籍調査による引掛線	2.0	0.0	注記	E7						半角	
		24		拡大図内部表示(注記)	2.0	0.0	注記	E7					半角・全角	境界点名、拡大図内注記 半角、全角の混在は不可	

- 1 本表に記載されていないものは、表中の類似物の注記規定による。
 2 各字大における文字の線の太さは、次の線号を標準とする。


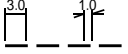





字大	2.0mm	2.5~3.0mm	3.5~4.0mm	4.5~5.0mm
線の太さ	0.15mm	0.20mm	0.25mm	0.35mm

三角点、水準点、多角点、現地測定による標高点及び図化機により測定した標高点、等高線数値の線の太さは、0.20mmとする。

道路台帳平面図・区域線確定図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考			
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値		
道路台帳平面図	道路台帳	95	01	起点記号			路線の起点を取得		方向	E6	有		3					
			02	終点記号			路線の終点を取得		方向	E6	有		3					
			03	中間分断点			路線の中間分断点を取得		点	E5				3	認定路線が不明瞭となる場所に表示する。			
			11	認定路線		実線	路線の中心を取得		線	E2				3				
			12	認定外路線		実線	路線の中心を取得		線	E2				3	認定外路線の場合に適用する。			
			23	曲率半径表示線		実線	路線の中心を取得		線	E2					3			
					挿入位置 R=25m	注記	E7	有			3	曲率半径数値を表示する。						
24	縦断勾配表示線		実線	路線の中心を取得		線	E2					3						
		挿入位置 +10%	注記	E7	有			3	縦断勾配数値を表示する。									

道路台帳平面図・区域線確定図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
区域線確定図	境界管理	95	31	旗揚げ線(実線)	500	 実線		線	E2			3			
							挿入位置	あいう	注記	E7	有			旗揚げ内容を表示する。	
			32	旗揚げ線(破線)	500	 破線		線	E2			3	再査定を行った場合に適用する。		
							挿入位置	あいう	注記	E7	有			旗揚げ内容を表示する。	
			33	引き出し線(実線)	500	 実線		線	E2			3			
			38	方向止め	500	 →		方向	E6	有		3			
			41	未決記号	500	 未 6.0 図形の中心真位置		点	E5			3			
							挿入位置	123-45	注記	E7			該当地番を表示する。		
			42	不立会い記号	500	 不 6.0 図形の中心真位置		点	E5			3			
							挿入位置	123-45	注記	E7			該当地番を表示する。		
			43	再立会い記号	500	 再 6.0 図形の中心真位置		点	E5			3			
							挿入位置	123-45	注記	E7			該当地番を表示する。		

道路台帳平面図・区域線確定図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ						線号	適用	端点一致	備考	
		レイヤ	データ項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向	属性数値					
区域線確定図	点間結線	97	01	国家座標による道路区域線	500	実線			線	E2			3				
							挿入位置 ↓ 1.23		注記	E7		有	境界点間距離数値を表示する。 座標値により点間距離を算出したものを表記する。				
			02	任意座標による道路区域線	500	実線			線	E2			3				
							挿入位置 ↓ 1.23		注記	E7		有	境界点間距離数値を表示する。 既存数値を転記する。				
			05	任意座標による国県道区域線	500	実線			線	E2			3			相模原市が管理する国県道に適用する。	
							挿入位置 ↓ 1.23		注記	E7		有	境界点間距離数値を表示する。 既存数値を転記する。				
			07	地籍調査による道路区域線	500	実線			線	E2			3				
							挿入位置 ↓ 1.23		注記	E7		有	境界点間距離数値を表示する。 地籍調査データより点間距離を算出したものを表記する。				
			11	国家座標による引っ掛け線	500	一点鎖線			線	E2			3				
							挿入位置 ↓ 1.23		注記	E7		有	境界点間距離数値を表示する。 座標値により点間距離を算出したものを表記する。				
			12	任意座標による引っ掛け線	500	一点鎖線			線	E2			3				
							挿入位置 ↓ 1.23		注記	E7		有	境界点間距離数値を表示する。 既存数値を転記する。				

道路台帳平面図・区域線確定図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考	
		レイヤ	データ項目		500		取得方法	図形区分	データ	レコード	方向					属性数値
区域線確定図	点間結線	97	15	任意座標による 国県道引っ掛け線	500				線	E2			3		相模原市が管理する国県道に適用する。	
							挿入位置 1.23		注記	E7		有		境界点間距離数値を表示する。 既存数値を転記する。		
		17	地籍調査による 引っ掛け線	500				線	E2			3				
						挿入位置 1.23		注記	E7		有		境界点間距離数値を表示する。 地籍調査データより点間距離を算出したものを表記する。			
	拡大図	97	21	拡大図外周					円	E3			3	図郭線を跨がないように作図する。		
			22	拡大図作図点		 図形の中心真位置			点	E5	有		3	境界点		
			23	拡大図作図線					線	E2				3	道路区域線及び引っ掛け線	
			24	拡大図内部表示 (注記)		地物と同じ図式				注記	E7			3	道路区域線及び引っ掛け線の注記については [9701,9702,9711,9712]を使用する。	

調査平面図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
調査平面図	平面図	96	21	車道部エリア	500	実線		面	E1			3	車道部に適用する。 車道部の構成要素は、車道、中央分離帯、路肩及び停車帯をいう。		
						属性1		属性	E8			車道部エリアの要素をいう。連結コード(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備)) 複数路線がある場合、上位路線を適用する。			
						属性2		属性	E8			幅員 単位は「m」(小数点以下1位まで入力) 例)4.0	幅員は、道路台帳平面図と大きく相違する場合のみ入力		
						実線		面	E1		3	複差路交差点の車道部に適用する。			
						属性1		属性	E8			十字車道部エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備)) 複数路線がある場合、上位路線を適用する。			
						属性2		属性	E8			幅員 単位は「m」(小数点以下1位まで入力) 例)4.0	幅員は、道路台帳平面図と大きく相違する場合のみ入力		
			23	十字車道部エリア	500	実線		面	E1		3	複差路交差点の車道部に適用する。			
						属性1		属性	E8			十字車道部エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備)) 複数路線がある場合、上位路線を適用する。			
						属性2		属性	E8			幅員 単位は「m」(小数点以下1位まで入力) 例)4.0	幅員は、道路台帳平面図と大きく相違する場合のみ入力		
						実線		面	E1		3	T字路交差点の車道部に適用する。			
						属性1		属性	E8			T字車道部エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備)) 複数路線がある場合、上位路線を適用する。			
						属性2		属性	E8			幅員 単位は「m」(小数点以下1位まで入力) 例)4.0	幅員は、道路台帳平面図と大きく相違する場合のみ入力		
25	T字車道部エリア	500	実線		面	E1		3	T字路交差点の車道部に適用する。						
			属性1		属性	E8			T字車道部エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備)) 複数路線がある場合、上位路線を適用する。						
27	車線(道)外部エリア	500	実線		面	E1		3	車道部における車線の幅員としてとらえない箇所(すみ切り、巻き込み部等)に適用する。	ラインデータは作図不要					
			属性		属性	E8			車線(道)外エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備)) 併設する車道部エリアと同一連結キーとする。						

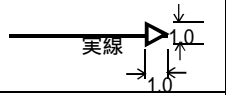
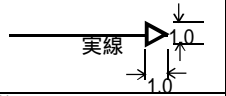
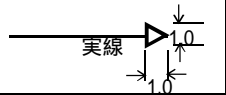
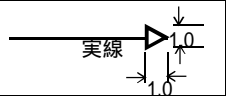

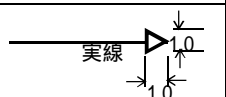
調査平面図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺 500	図式	データタイプ					線 号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
調査平面図	平面図	96	33	分離帯(植樹施設有)エリア		実線		面	E1			3	植樹施設のある中央分離帯(側帯を除く)に適用する。植樹施設有とは、高・中・低木および芝等の植栽を有する分離帯をいう。	併設する車道部エリアと重複	
						属性		属性	E8			分離帯(植樹施設有)エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備))併設する車道部エリアと同一連結キーとする。			
			35	分離帯(植樹施設無)エリア		実線		面	E1			3	植樹施設のある中央分離帯(側帯を除く)に適用する。	併設する車道部エリアと重複	
						属性		属性	E8			分離帯(植樹施設無)エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備))併設する車道部エリアと同一連結キーとする。			
			39	法面・緑地等エリア		実線		面	E1			3	道路区域にある、道路部以外の区域に適用する。法面、ポケットパーク及び交通島(安全地帯)等をいう。	ラインデータは作図不要	
						属性		属性	E8			法面緑地等エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備))			
		41	歩道部右エリア		実線		面	E1			3	路線の起点から終点に向かい、車道部の右側にある歩道(自転車道、自転車歩行者道)に適用する。併設する車道部エリアの端部と一致(一直線)させる。	植樹施設での区分は不要		
					属性1		属性	E8			歩道部右エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備))併設する車道部エリアと同一連結キーとする。				
					属性2		属性	E8			幅員 単位は「m」(小数点以下1位まで入力) 例)4.0	幅員は、道路台帳平面図と大きく相違する場合のみ入力			
		43	歩道部左エリア		実線		面	E1			3	路線の起点から終点に向かい、車道部の左側にある歩道(自転車道、自転車歩行者道)に適用する。併設する車道部エリアの端部と一致(一直線)させる。	植樹施設での区分は不要		
					属性1		属性	E8			歩道部左エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備))併設する車道部エリアと同一連結キーとする。				
					属性2		属性	E8			幅員 単位は「m」(小数点以下1位まで入力) 例)4.0	幅員は、道路台帳平面図と大きく相違する場合のみ入力			

調査平面図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
調査平面図	平面図	96	47	道路部外エリア	500			面	E1			3	他の分類コードで表すことのできない道路部内エリアに適用する。		ラインデータは作図不要
						属性1		属性	E8				道路部外エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備))		
			48	独立専用歩道エリア	500			面	E1			3	「独立専用歩道等データ」に記載されている、歩行者専用道路に適用する。		「独立専用歩道等データ」を参照
						属性1		属性	E8				独立専用歩道エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備))		
			49	独立専用歩道エリア	500			面	E1			3	「独立専用歩道等データ」に記載されている、歩行者専用道路に適用する。		「独立専用歩道等データ」を参照
						属性1		属性	E8				独立専用歩道エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備))		
	50	調査データ管理外エリア	500			面	E1			3	駅前広場、立体交差等、調査データによる管理が不適当なエリアに適用する。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備))		ラインデータは作図不要		
				属性1		属性	E8				調査データ対象外エリアの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、エリア番号、エリア番号(予備))				
	51	車道部ライン	500		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	車道部に適用する。当該車道部エリアの中心線とする。ライン端は、車道部エリアの端部と一致させる。				
				属性		属性	E8				車道部ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備)) 当該車道部エリアと同一連結キーとする。 複数路線がある場合、上位路線を適用する。				

調査平面図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
調査平面図	延長線	96	53	十字車道部ライン	500		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	複差路交差点の車道部の上位路線を適用する。当該車道部エリアの中心線とする。ライン端は、車道部エリアの端部と一致させる。		
						属性		属性	E8				十字車道部ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))複数路線がある場合、上位路線を適用する。		
			55	T字車道部ライン		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	T字路交差点の車道部の上位路線を適用する。当該車道部エリアの中心線とする。ライン端は、車道部エリアの端部と一致させる。			
					属性		属性	E8				T字車道部ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))複数路線がある場合、上位路線を適用する。			
			63	車道部(重用)ライン		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	路線の重用している車道部の下位路線に適用する。当該車道部エリアの中心線とする。ライン端は、連結する車道部エリアの端部と一致させる。	エリアデータは作図不要		
					属性		属性	E8				車道部(重用)ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))複数路線の下位路線を適用する。			
			65	台帳未整備ライン		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	道路台帳平面図の未整備区間に適用する。道路部区域の中心線とする。	エリアデータは作図不要		
					属性		属性	E8				台帳未整備ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))			
			67	踏切りライン		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	踏切りに適用する。「踏切りデータ」に記載される踏切り延長どおり作図する。ライン端部は、連結する車道部ライン等の端部と一致させる。	「踏切りデータ」を参照		
					属性		属性	E8				踏切ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))			
			69	橋梁ライン		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	橋梁に適用する。「橋梁データ」に記載される橋梁延長どおり作図する。ライン端部は、連結する車道部ライン等の端部と一致させる。	「橋梁データ」を参照		
					属性		属性	E8				橋梁ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))			

調査平面図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
調査平面図	延長線	96	71	トンネルライン	500		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	トンネルに適用する。 「トンネルデータ」に記載されるトンネル延長どおり作図する。 ライン端部は、連結する車道部ライン等の端部と一致させる。	「トンネルデータ」を参照	
						属性		属性	E8				トンネルラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		
			73	分離帯(植樹施設有)ライン	500		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	植樹施設のある中央分離帯(側帯を除く)に適用する。 当該分離帯エリアの中心線とする。 ライン端は、分離帯エリアの端部と一致させる。		
						属性		属性	E8				分離帯(植樹施設有)ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		
			75	分離帯(植樹施設無)ライン	500		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	植樹施設のある中央分離帯(側帯を除く)に適用する。 当該分離帯エリアの中心線とする。 ライン端は、分離帯エリアの端部と一致させる。		
						属性		属性	E8				分離帯(植樹施設無)ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		
			77	歩道部右ライン	500		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	路線の起点から終点に向かい、車道部の右側にある歩道(自転車道、自転車歩行者道)に適用する。 当該歩道エリアの中心線とする。 ライン端は、歩道エリアの端部と一致させる。		
						属性		属性	E8				歩道部右ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備)) 併設する車道部と同一連結キーを付与する。		
			79	歩道部左ライン	500		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	路線の起点から終点に向かい、車道部の左側にある歩道(自転車道、自転車歩行者道)に適用する。 当該歩道エリアの中心線とする。 ライン端は、歩道エリアの端部と一致させる。		
						属性		属性	E8				歩道部左ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備)) 併設する車道部と同一連結キーを付与する。		
			84	独立専用歩道ライン	500		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	「独立専用歩道等データ」に記載されている、歩行者専用道路に適用する。 当該エリアの中心線とする。 ライン端は、連結するエリアの端部と一致させる。	「独立専用歩道等データ」を参照	
						属性		属性	E8				独立専用歩道ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		

調査平面図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺 500	図式	データタイプ					線 号	適用	端点 一致	備考
		レイヤ	データ 項目				取得方法	図形 区分	デー タ	レ コー ド	方 向				
調査平面図	延長線	96	87	独立専用自歩道ライン	500		路線の起点から終点 に向かって取得	線	E2			3	「独立専用自歩道等データ」に記載されている、自転車歩行者専用道路に適用する。 当該エリアの中心線とする。 ライン端は、連結するエリアの端部と一致させる。	「独立専用自歩道等データ」を参照	
						属性		属性	E8				独立専用自歩道ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		
			88	列状植樹施設(歩道)ライン	500		路線の起点から終点 に向かって取得	線	E2			3	歩道部にある列状植樹施設に適用する。 列状植樹施設とは、植樹等により列状に植栽してあるものをいう。 列状植樹施設の中心線及び植栽間の延長とする(一本線)。		
						属性		属性	E8				列状植樹施設(歩道)ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		
			89	帯状植樹施設(歩道)ライン	500		路線の起点から終点 に向かって取得	線	E2			3	歩道部にある帯状植樹施設に適用する。 列状植樹施設とは、帯状(連続的)に植栽してあるものをいう。 列状植樹施設の中心線とする。		
						属性		属性	E8				帯状植樹施設(歩道)ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		
			90	独立専用自歩道(重用)ライン	500		路線の起点から終点 に向かって取得	線	E2			3	路線の重用している独立専用自歩道の下位路線に適用する。 当該エリアの中心線とする。 ライン端は、連結するエリアの端部と一致させる。	エリアデータは作図不要 「独立専用自歩道等データ」を参照	
						属性		属性	E8				独立専用自歩道(重用)ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		
			91	独立専用自歩道橋梁ライン	500		路線の起点から終点 に向かって取得	線	E2			3	「独立専用自歩道等データ」に記載されている、自転車歩行者専用道路に適用する。 「橋梁データ」に記載される橋梁延長どおり作図する。 ライン端は、連結するエリアの端部と一致させる。	「独立専用自歩道等データ」を参照 「橋梁データ」を参照	
						属性		属性	E8				独立専用自歩道橋梁ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		

調査平面図

大分類	分類	分類コード		名称	縮尺	図式	データタイプ					線号	適用	端点一致	備考
		レイヤ	データ項目				取得方法	図形区分	データ	レコード	方向				
調査平面図	延長線	96	92	独立専用歩道橋梁ライン	500		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	「独立専用歩道等データ」に記載されている、歩行者専用道路の橋梁に適用する。 「橋梁データ」に記載される橋梁延長どおり作図する。 ライン端は、連結するエリアの端部と一致させる。	「独立専用歩道等データ」を参照 「橋梁データ」を参照	
						属性		属性	E8				独立専用歩道橋梁ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		
		96	93	未供用ライン	500		路線の起点から終点に向かって取得	線	E2			3	未供用路線に適用する。 道路部区域の中心線とする。	エリアデータは作図不要	
						属性		属性	E8				未供用ラインの要素をいう。連結キー(路線コード、枝線番号、ライン番号、ライン番号(予備))		